

## 令和4年度 第2回 草津市健幸都市づくり推進委員会

日 時： 令和5年3月2日（木）14時00分から15時50分

場 所： 草津市役所8階 大会議室

出席委員： 三浦委員長、藤田副委員長、小沢委員、塚口委員、末岡委員、廣松委員、  
中嶋委員、光永委員、先川委員、井上委員、黒川委員、中嶋委員、南委員、  
吉川委員(14名出席)

欠席委員： 崎山委員、望月委員、村田委員、小泉委員、荒木委員、山内委員

事務局： 健康福祉部山本理事、健康福祉政策課岸本課長、健康福祉政策課吉川課長補  
佐、健康福祉政策課寺田主事、株式会社名豊大川氏

傍聴者： なし

次 第：

### 1 開会

### 2 議事

- 1) くさつ健幸ガイドブック～草津市健幸都市づくり基本方針～（案）  
に係るパブリックコメントの結果および最終案について ……資料1、2
- 2) くさつ健幸ガイドブック概要版（案）について ……資料3
- 3) 令和5年度の健幸都市づくり推進事業の主な取組について ……資料4

### 3 閉会

○ 議事

- 1) くさつ健幸ガイドブック～草津市健幸都市づくり基本方針～(案)に係るパブリックコメントの結果および最終案について

【事務局】

<資料1、2に基づき説明>

【委員長】

パブリックコメントによる意見への対応の他に、前回の会議時点から変更した点について、簡単に説明してもらいたい。

【事務局】

構成と掲載内容について、大きく変わった部分はないが、前回の会議でも、冊子のページが多いというご意見をいただいていたため、全体的に文章量、ページ数を精査して減らしたほか、冊子の最後に参考データをいくつか添付していたが、手軽さを重視して省略した。また、冊子の途中の所々で挿入していたコラムについては、読みやすさを重視し、後半の1か所にまとめて集約した。○×クイズ等についても、内容を精査し見直しを行った。

【委員長】

各委員からご意見等があればお願いしたい。

【副委員長】

分かりやすくまとめていただいているように思う。冊子の17頁、③情報発信における「あなたへのメッセージ」として、「健幸投資(→4頁)」という記載があるが、4頁には「健幸投資」という文言はなく、2つ目の質問に対する市の回答で「各々が健幸の重要性を意識し、できる範囲で時間やお金を投資すること」という表現があるが、このことを指しているという理解でよいか。

【事務局】

ご指摘のとおり、健幸投資は、4頁の市の回答「各々が健幸の重要性を意識し、できる範囲で時間やお金を投資すること」を指している。確かに「健幸投資」という言葉ではないので、17頁の余白部分に、「健幸投資」の説明書きを加えることを検討させていただく。

【副委員長】

また、各自ができる範囲で時間を投資するということは理解できるが、健康増進に向けてお金を投資するということは、具体的にどのようなことを想定しているのか。

### 【事務局】

具体的には、「スポーツジムに通う」「(運動に関する) 習い事をする」「住まいを断熱仕様にリフォームする、またはバリアフリー改修する」など、健康増進のためには、色々お金が必要になることも多くあるため、ここでは「お金の投資」という表現をしている。

### 【副委員長】

「健幸都市くさつ」について、2頁に「健幸都市って何？」という質問があり、市の回答では「みんなが生きがいをもって、健やかで幸せな暮らしができるまち」となっている。「健やかで幸せな暮らし」は、すぐにイメージできるが、「生きがいをもつ」ということについて、市では具体的にどのようなことができるのか。また、そのことに関して、市民に何に取り組んでほしいのかについても見えにくいと感じる。13頁の④高齢世代の取組の中で、「市の施策の方向性」で「地域活動やボランティア活動への参加、就労等、高齢者の様々な生きがいづくりに取り組みます」という記載がある。これに基づいて「みんなで取り組むこと」として、「趣味や生きがい等を見つけ」という記載がある。高齢世代に関しては、このような具体的な取組が記載されているが、その他の世代に対しては記載がないように思う。市として「すべての世代に対し、生きがいをもつ」ということを挙げている以上、どのようなイメージをもっているのか。

### 【事務局】

生きがいについては人それぞれで、何を生きがいにするのかを市が特定することは難しいと考えているが、例えば4頁の市民Cさんとのやり取りの中での市の回答にもあるように、「これからは地域の支え合い支援に力を入れていきたい」「社会参加や社会的役割をもつことが生きがいや介護予防につながる」あたりが市の取組のポイントであると考えている。

14頁①地域共生社会の推進という項目があるが、これは国が示している理念であり、地域の中で、様々な属性、立場の方々がお互い支え合って暮らしていくという未来の社会像のあり方である。本市としても「健幸」を謳っており、ウェルネスやウェルビーイングという考え方のもと、身体だけでなく、社会的にも、精神的にも充実している状態を目指していることから、地域共生社会の実現に向けて、地域福祉の分野に力を入れていこうと考えている。具体的には、福祉部門を中心に、包括的な相談支援体制を構築するとともに、地域に出向き、引きこもりの方などが活動できる場や居場所づくり、ネットワークを構築することで、人と人とのつながりを作ることができればと考えている。高齢者だけを対象としたものではなく、それ以外の世代についても、誰もが交流でき、社会参加できる場づくりを進めたいと考えている。

### 【委員】

今後に向けての考え方として、産官学連携については、現行の健幸都市づくりの計画の中

でも重要なものとして位置付けていたように思う。特に、本来であれば「産」が様々な形でもう少し関わる必要があると思う。「産」との連携について、より具体的に取り組んでいただきたいと思う。

#### 【事務局】

産官学連携については、従前の基本計画の中でも、しごとの健幸づくりの中で位置付けており、当初は、ヘルスケア産業の育成等の取組を掲げていたが、具体的な取組として実施することは難しく、実現できていない事項も多い。企業との連携としては、健幸関連のイベント等において、働きかけと行い、ブース出展をいただいていることや、健幸都市宣言に賛同していただいている市内の事業所に対し、市から健幸に関する情報をメールマガジンで配信するなどにとどまっている。

来年度は、大学との共同研究事業と計画しており、今後、研究成果を基に社会実装をしていく段階になれば、様々な分野の企業等との連携を図っていきたいと考えている。

#### 【委員】

冊子の中身について、目を通させてもらったが、市民の皆さんに「健幸」や「健幸都市づくり」について考えていただくという趣旨からして、大変分かりやすく作られていると思う。

#### 【委員】

先の報道でも、県の男性の平均寿命は1位、女性は2位ということであったが、市の健康寿命は把握できているのか。平均寿命と健康寿命では、やはり健康寿命が重要だと思う。

#### 【委員長】

20頁に、健康寿命ということで、平均自立期間の目標値が挙げられている。これは、市町村別に算出した、草津市のデータである。下に参考として、滋賀県のデータが載っているが、草津市は県全体よりも健康寿命は長いということになる。

#### 【委員】

企業においては、「健康経営」「優良法人」ということが言われている。この冊子は市民向けとのことであるが、この点に対する市の考え方は如何か。

#### 【事務局】

「従業員やその家族の健康を増進することで、従業員の生産効率が上がり、結果として企業が発展する」という「健康経営」の考え方については、市としても、推進していくべきだと考えている。今回の基本方針の対象としている「市民」については、草津市に住んでいる住民だけではなく、草津市に通勤、通学で来られている方や、草津市を訪れる方を含めた幅

広い概念としているので、市内の企業、事業所もそこに含まれていると考えている。

(健康経営の推進に関する) 個別の取組は、この方針の中には特段定めているものはないが、健康に役立つ情報や、今後は、健康につながる運動プログラムの提供等を市内の事業所等に案内するなどして、共に「健幸」に関して取り組んでいけるとよいと考えている。

#### 【委員】

市長は、健康のためには、まず「食事」、次に「運動」、3番目に「睡眠と休養」が大切であり、これらを実践することで健康寿命が伸びるということを話されていた。市としても、市長の趣旨に沿った考え方をしているのか。

#### 【事務局】

市長は、「運動」「食事」「睡眠」に加えて、おしゃべり(社会参加)をすることを重要な要素として挙げていたように思う。10、11頁の「全世代共通の健幸づくり」において、これら「運動」「食事」「休養」の項目を挙げている。また、交流に関しては直接的な言及はないが、人との関わりを持つことで、心豊かに暮らすことについては、広い意味で、こころの健康づくりに含まれていると考えている。12頁の「世代ごとの健幸づくり」の中でも、人との関わりについては何度か言及しており、14頁以降の環境づくりの中でも、交流を通じて人との関わりをつくることの大切さに触れている。全体としては網羅できているのではないかと考えている。

#### 【委員】

「健幸投資」という言葉は、音にすると「健幸都市」と混同して紛らわしいのではないかと。市として「健幸投資」という言葉はこのまま使う予定か。他の言葉に置き換える考えはないのか。

#### 【事務局】

行政の立場からすると、「投資」という言葉を市民に向けて発信する機会には確かにあまりないようには思う。ただ、市としては、「健幸」に時間とお金をかけることを具体的にイメージしてもらえよう「投資」という言葉をあえて使い、発信したいと考えている。

#### 【委員】

10頁から17頁にかけて、紙面の上部に赤色または青色の帯部分があるが、タイトルが入っている頁とそうでない頁がある。すべての頁にタイトルを入れたほうがよいように思うが、如何か。

**【事務局】**

ご指摘の点を踏まえ、全ての対象頁にタイトルを入れることを検討させていただく。

**【委員】**

健康分野における、産官学連携に関しては、ほとんどが実現していないといった話があったが、例えば、ワクチン接種に関して言うと、何も無いところから今の接種体制をつくり上げてきたことがあり、その中では、民間の事業者が協力的に動いていただけたからこそその部分があるように思う。こうした点については、市民の方々にも知っていただけるとよいと思う。

2) くさつ健幸ガイドブック概要版(案)について

**【事務局】**

<資料3に基づき説明>

**【委員長】**

ご意見等があればお願いしたい。

**【委員】**

1頁の「健康寿命」についてであるが、マスコミ等で取り上げられている数値は、国の主観的な数値であり、ここでは客観的な数値を取り上げているのだと思うが、両者に開きがあるので、そのことに触れていないと、誤解を招くことにならないか。

**【委員長】**

国が発表している健康寿命は、32頁の①のアンケートの方法で算出されており、これだと滋賀県の値は最下位に近くなる。多くの方が、「自分自身が健康だと思っていない」ということの表れなのだと思う。一方で、③の介護保険のデータを使って算出すると、滋賀県の値は上位になる。これが20頁の値になる。概要版にも、そのことをきちんと明記してはどうかというご意見であるが、事務局として如何か。

**【事務局】**

冊子本編では、それらの違いについても記述しているが、国が発表しているものと、市が発表しているものとの間で、算出方法の違いにより数値に開きがあるので、概要版での表記の仕方については、少し検討させていただく。

**【委員】**

先程、事務局の説明で、ガイドブックの設置場所についての話があったが、例えば、大学

に設置や配布するのであれば、健康診断時に行うようなことが考えられると思う。下宿している学生には、市の情報は届きにくいので、(情報を伝えたいのであれば)よい機会かもしれない。もし必要であれば大学の事務局に相談いただければと思う。

**【事務局】**

検討させていただきたい。

**【委員】**

1頁の「健幸に暮らしていると思う市民の割合の増加」の現状値が「なし」となっているが、健幸都市づくりには平成28年度から取り組んでいて、「なし」ということで本当によいのか。

**【事務局】**

現行計画では、主観的指標として「健幸なまちであるかどうか」を聞き、目標指標としていたが、主体が「まち」であり、そもそも質問の意味が分かりにくいというご意見もいただいております。目標値の60%にはなかなか届かないという状況であった。今回は質問を「あなたは(草津市で)健幸に暮らしていますか」としており、主体を各々に変更したことで、従来よりも答えやすくなったのではないかと考えている。しかし、これまで尋ねていた質問とは違う質問だということで、現状値は「なし」と記述することになる。表記の仕方については、検討させていただく。

3) 令和5年度の健幸都市づくり推進事業の主な取組について

**【事務局】**

<資料4に基づき説明>

**【委員】**

3頁の②子宮頸がん予防ワクチン接種費には8,000万円以上の事業費がかかっている。この接種は任意であり、また、子宮頸がん予防ワクチンについては、予防効果が高いが、過去にいろいろな副反応があるとされていたように思う。市として接種を推進する考えなのかを伺いたい。

**【事務局】**

国(厚生労働省)も、一時期は「積極的にこのワクチンを打つことについては勧めない」というスタンスをとっていたが、専門家との協議を続ける中で、ある時点から「このワクチンを打つことを積極的に推奨する」というスタンスに変わった経緯がある。それに合わせて、市でも昨年度から、全国の自治体と同様に、接種を勧奨している。

**【委員】**

このワクチン接種を、国（厚生労働省）は推進しているということか。

**【事務局】**

推進という表現が適切であるかは分からないが、予防接種法に則り、接種を実施している各種の予防接種についても、最終的に打つか打たないのかは、本人の決定による。ただ、国としては、「予防効果が高いので、接種することをお勧めする」ということである。

**【委員】**

接種はあくまでも任意であるということで理解した。金額が大きいのので質問させてもらった。

**【事務局】**

9価ワクチンは新しいもので、どうしても単価が高くなる。過度に対象者を多く見積もって算出している訳ではない。

**【委員】**

過去に、草津市で（子宮頸がん）ワクチンを接種した方で、重大な副反応が生じた方はいないのか。

**【事務局】**

この場で即答はできないが、副反応のリスクは、他のワクチンと同じようにあり、全くリスクがないとは断言できない。勧奨通知にも、副反応のリスクについて記載しており、それをしっかりと理解し、納得いただいた上で、本人に（接種の有無を）判断していただくという流れになる。過度に市が勧めているといったものではなく、エビデンスに基づいたワクチンの有効性について周知しているということである。ただし、重篤な副反応が起きる確率は極めて低く、一方で、高い予防効果があるので、国としても接種を勧めるという考え方をとっており、草津市も同様のスタンスをしているということである。

**【委員】**

子宮頸がんワクチンは、一時期、積極的な勧奨を控えていたが、もともと定期接種ということで、国が決めたワクチンの中の打つべきワクチンの中に含まれている。これは、高齢者に対するインフルエンザワクチンや子どもに対する各種ワクチン等と同じ扱いである。色々と研究が進み、今後は積極的な勧奨のスタンスに戻ったということである。草津市も同様の考え方をとっているということである。事業の金額は大きいですが、より多くの女性に打っ



てもらわなければならないと思うので、接種を勧めていくのが正しいスタンスだと思う。

**【委員】**

令和5年度の主な取組には、多くの政策分野のものが挙げられているが、これは各部署の事業・取組を健康福祉部がとりまとめたという意味のものなのか、それとも各事業の実施に関して、健康福祉部が主導権をもって進めていこうとしているものなのか。

**【事務局】**

今回、挙げている個々の事業は、全てが健康福祉部の要求したものではない。市の最上位計画である総合計画の将来ビジョンにおいて、健幸都市の実現を謳っており、基本的には各政策分野の事業や取組を進めることで、健幸都市の実現につながるという整理を行っている。従って、各部署から（健幸都市づくりに関する）予算要求をしている。ただ、「健幸」という概念を幅広いものとしているが故に、市が要求している事業はすべてが健幸都市づくり関連事業であるという見方もできないことはないが、なかなかその全てを皆さんに紹介することは難しいこと、また、イメージもしにくいということで、今回は基本方針のカテゴリーごとに特に健幸づくりに関係すると思われる事業を3つずつ抜粋して挙げているところである。

**【委員長】**

もともと健幸都市基本計画の趣旨は、この委員会で検討したもので、市の色々な部署が取り組んでいる事業について、横断的に（総合行政として）取り組もうとすることであったように思う。

**【委員】**

がん検診受診率向上事業費についてであるが、大腸がん検便キットを同封した個別勧奨通知を40歳以上の方に送付するということか。

**【事務局】**

大腸がん検便キットを同封した個別勧奨通知は、令和5年度に40歳を迎える方と、また過去5年間に大腸がん検診の受診歴があり、前年度に受診されていない69歳までの方を対象に送付する予定である。

**【委員】**

40歳を選んだ根拠があまりよく分からないように思う。大腸がん検診に関しては、我々いつも問題にしていることとして、健診結果で精密検査が必要となった方の中で、精密検査を受けない方がおられるということがある。精密検査を受けない方の中に、必ず何人か、大

腸がんの方が潜在している。要精密検査の方が必ず受診するように促すことが非常に重要であると考えている。

**【事務局】**

この場ではっきりとしたことはお答えできないが、40歳以上の方を対象とした検査ということで、まず最初（に検査を受けることになるであろう）40歳の方を対象としているところであり、次に過去5年間に大腸がん検診の受診歴があり、前年度に受診されていない方としている。

**【委員】**

後半の考え方はよいと思うが、費用的なことを考えると、40歳の方よりももっと高い年齢の方を設定してもよいかと思う。

**【事務局】**

全国的に、がん検診の受診率に関しては、自治体を実施している健診の受診率は把握できるが、勤務先の健康診断で実施しているがん検診に関して、市町村では把握できていない。（国としては把握できていると思う。）

草津市の場合は、市が実施しているがん検診の受診率は、他の市町の受診率よりも低くなっている。他所での受診の状況は把握できないが、市の検診の受診率が低いということで何らかの対策を講じる必要があるということが大前提にある。今まではがん検診の種類ごとに勧奨はがきを送っていたが、今回は1つにまとめるという工夫をしたことで、経費を節減できたので、その財源を使って事業を実施し、中長期的に受診率を上げていきたいと考えている。

**【委員】**

ぜひ結果を検証していただきたいと思う。企業等の健診を除いた特定健診の受診率はかなり低いですが、無料にしても受診率は伸びなかった。大変、お金のかかる事業なので、きちんと検証して相談しながら進められるとよいと思う。

**【委員長】**

行動変容にからめて、対象者の背中を押してあげる対策ということだと思う。40歳は健診を始める歳なので、ここで受診していただくことで、その後も継続する効果を狙っているのだと思う。他にご意見等があればお願いしたい。

**【委員】**

「読書のまち推進費」について、もう少し詳しい話が聞きたい。主な内容に、「小中学校

の児童生徒向け読書ポイント事業」とあるが、どのような形で開始されるのか。現在、デジタル化が進む中で、小中学生に関わることであり、事業の進め方も重要であると思う。この事業をどのように進める予定なのかをお聞きしたい。

**【事務局】**

子どもたちが、本をかりることに対してポイントを付与（して何らかのインセンティブを付与）するという事業であるが、この場に担当が来ていないので、詳しい事業の運用の方法については、この場で説明できないことをお容赦いただきたい。ただし、デジタル技術に馴染みやすい世代であり、ご意見にあるように、デジタル技術の活用は重要だと思うので、担当所属に、その旨、伝えさせていただく。

**【委員】**

この委員会自体は、進捗管理をしていく役割を担っていると思う。次年度の基本方針としては「みんなで育む」ということが大前提になっているが、次年度の挙げられている事業については、「みんなで」という観点が見えにくいように感じる。次回以降の委員会では、「みんなでどのような形で進めるのか」という視点で議論できるとよいと思う。例えば、各学区のまちづくり協議会等で取り組まれているところまで含めてチェックするのか、市の直接的な事業に限って評価するのかの判断も必要なので、そのようなことも含めて協議できるとよいと思う。

**【事務局】**

評価、総括ということでは、今年度までは現行の基本計画の計画期間になるので、来年度の1回目の会議において、令和4年度の実績の報告と、計画の5年間の総括をご報告することになる。それは現行計画の体系に基づく報告になる。基本方針に基づく新しい評価は、令和5年度、1年を通して各事業を実施した後に、令和6年度の会議において、改めて報告することになるが、その際には「みんなで取り組む」という視点からも評価する仕組みについても検討していきたい。

**【委員長】**

私からも質問させていただきたい。「草津駅西口自転車駐車場建替事業費」に関して、「閉鎖型喫煙所を整備し」とあるが、基本的に、駅周辺は市の路上喫煙禁止区域になっていたように思う。現状は別の喫煙場所があるのか。

**【事務局】**

草津駅、南草津駅ともに、駅周辺は、路上喫煙禁止区域として指定している。以前は、両駅ともに、植栽で区切った開放型の喫煙コーナーがあったが、たばこの煙がそこから漏れる

受動喫煙の問題が指摘され、順次、BOXの閉鎖型の喫煙所を整備している。唯一、草津駅西口だけが適切な場所が見付からず、喫煙所がない状況となっている。歩きたばこが多いという声もあり、他のエリアよりも巡回を強化するなどして対応してきたが、今回の駐輪場建替に際し、適切な整備場所が見つかったので、4か所目の喫煙所を整備するということである。

#### 【委員】

資料2に戻るが、10、11頁の「みんなではぐくむ健幸づくり」に、6つの取組項目が挙げられているが、⑤の「たばこ・アルコール」は嗜好品に特化した項目となっており、ここ項目名としてこれでいいのかという疑問がある。また、各項目の「あなたへのメッセージ」は、それぞれ、健幸につながる前向きなメッセージが記載されているが、⑤だけは、飲酒と喫煙のルールを守ることが書かれているだけになっているため、何か健幸につながるメッセージに置き換えた方がいいように思う。

#### 【事務局】

健康増進に係る個別計画である「健康くさつ21」においても、「たばこ・アルコール」として1つの項目としていることから、それに合わせて項目名としているので、この点はご理解いただきたい。なお、「あなたへのメッセージ」に関しては、他の項目のメッセージと書き方が異なっているので、表記を変更することについて、検討させていただきたい。

#### 【委員長】

特に喫煙対策は大変重要だと思うので、しっかりと打ち出していただければと思う。この表現だと、ルールやマナーを守れば喫煙しても構わないという印象を受けるので、再考いただければと思う。禁煙に向けたメッセージがよいと思う。

事務局から他に連絡事項等はあるか。

#### 【事務局】

本年度の委員会は、本日で最後となる。委員各位におかれては、公私何かとお忙しい中において、活発なご議論をいただき心から感謝申し上げます。お陰で、「くさつ健幸ガイドブック～草津市健幸都市づくり基本方針～」を発行できる運びとなった。今後は、このくさつ健幸ガイドブックを活用し、市民の皆さまをはじめとしてより多くの方に「健幸」や「健幸都市づくり」について知って・共感して・行動していただくことにつなげていきたいと考えている。なお、来年度以降も、引き続き、市の健幸都市づくりに関する様々な事業・取組について御意見等を頂戴いただければと思う。よろしく願いしたい。

### 3 閉会